

畠山眼科 情報室

⑬

点眼薬の保管に注意

点眼薬を、湿布薬や防虫剤と一緒に保管すると揮発成分が目薬にしみこんで、薬が変質することがあります。



点眼薬の容器はプラスチック製です。いくらしっかりと蓋をしめておいても、湿布薬や防虫剤と一緒に保管すると、揮発成分が、点眼薬の容器に染み込むように突き抜けて、薬液の中に揮発成分が混じってしまいます。目薬が変質してしまいますので、薬箱で保管する場合は、湿布薬と一緒にしないで下さい。タンスや引き出しに保管するときは、



防虫剤と一緒に入ってないかご注意ください。防虫剤の揮発成分が、湿布薬と同じように、容器をすり抜けて、点眼液に混ざります。点眼薬の容器は意外にスカスカなのです。

又、点眼薬は熱や紫外線で変質することもあります。涼しくて光の当たらない所で保管して下さい。車のダッシュボードや、暖房器具の近くに置かないで下さい。「要冷蔵」の指示があれば冷蔵庫に入れて下さい。でも、**冷凍しない**で下さい。「要冷蔵」の指示がなくても 冷蔵庫に入れて差し支えありませんが、殺菌灯の紫外線にご注意ください。遮光袋に入れるか、アルミホイルにくるんで冷蔵庫に入れて下さい。



クイズ

ツノトカゲ(角蜥蜴)はアメリカ西部～メキシコ北部の砂漠地帯に住む、体長 10cm 前後の、平べったい体形のトカゲです。主にアリを食べます。狼やコヨーテに襲われると、逃げたり、死んだふりをしたり、平べったい体を膨らませて威嚇したりしますが、それでも食べられそうになると、相手の目をめがけて、ある液体を発射して身を守ります。

では **問題**。ツノトカゲが襲われたとき、体から発射する、ある液体とは何でしょうか？ 下の①～⑤でお答え下さい。(答えは裏ページ)

- ① ネバネバの唾液(ツバ)
- ② 酸性の涙液(ナミダ)
- ③ 臭い血液(チ)
- ④ 有毒な尿(オシッコ)
- ⑤ 泥状の糞(ウンチ)



サバクツノトカゲ

河川盲目症の特効薬 イベルメクチン



イベルメクチンを発見した大村智博士。
2015年ノーベル医学生理学賞を受賞した。

河川盲目症という病気は、日本ではあまりなじみがありませんが、アフリカや中南米で猛威を振るい、150万人もの人々が失明した病気です。オンコセルカという寄生虫が原因で起こります。オンコセルカは急流の川で繁殖するブユ(蚋)が媒介するので、川の近くに住む人に感染し、河川盲目症と呼ばれています。オンコセルカの成虫は長さ3~4cm。そうめんのような形です。幼虫はミクロフィラリアといって、長さ0.3mm。肉眼ではほとんど見えません。ブユに刺されてミクロフィラリアが人体に入ると血流に乗って全身に移動し、皮膚に入って瘤を作り、およそ15年間生存します。



ブユ(蚋)⇒

日本では、地方によってブヨ、ブト、黒バエなどと呼ばれています。アフリカでは、オンコセルカを媒介する厄介者です。

成虫のメスは、毎日、毎日、1000匹ものミクロフィラリアを生み続けます。おびただしい数のミクロフィラリアが、全身を移動して、病気を引き起こします。目の中に入れば最悪失明します。感染地域に住む2億2千万人の人々が感染の恐怖にさらされ、2100万人が感染に苦しみ、150万人が失明していました。この病気の特効薬がイベルメクチンです。この薬を1錠飲めば、全身のオンコセルカが死滅します。繰り返し感染しても、1年に1回、たった1錠飲むだけで発病しません。この薬は、毎年2億人以上の人々に配布されており、この薬の投与で、オンコセルカは、中南米では、すでに撲滅が完了しました。アフリカでも激減しました。遠くない将来、アフリカでも撲滅されるものと



思われます。イベルメクチンを発見した大村智博士は、その功績により2015年にノーベル医学生理学賞を受賞しました。

⇐ 河川盲目症で失明したアフリカ人の目。
白目(結膜)は赤く充血し、黒目(角膜)は青白く混濁しています。



クイズの答え

答：③

目から血液を発射します。
敵を殺すほどの毒はありませんが
悪臭があり、狼などを撃退します。

目から血を出すツノトカゲ

富山眼科 診療案内 〒432-8002 浜松市中央区富塚町2043-1 ☎053-475-6000

診療時間	日	月	火	水	木	金	土
AM9:00~12:00	×	○	○	×	○	○	○
PM2:00~ 5:30	×	○	○	×	○	○	×

水曜、日曜、祝日…休診

受診時には、保険証、各種受給者証、
又はマイナンバーカードをお持ち下さい。
予約制ではありません。
来院された順に診察いたします。
院内 **禁煙** にご協力下さい。

